

教育委員会だより

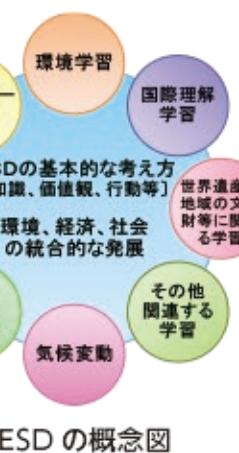
私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会づくりの担い手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。

その「今」を紹介しています。

大牟田市は未来を創る児童生徒を育成しています

④ ESDと新学習指導要領

ユネスコスクールである全ての市立小・中・特別支援学校と教育委員会は、持続可能な開発のための教育(ESD)の実践を通して、世界にあるさまざまな現代社会の課題を自らの問題としてとらえ、自分にできることを考えて行動する児童生徒を育成しています。



ESDは、第9号で紹介したSDGs（持続可能な開発目標）の目標4（質の高い教育をみんなに）の具体的な目標の一つに位置付けられていて、ESDを進めることは、SDGsの目標達成に貢献することになります。

SDGs達成の担い手育成の取り組み

④ ESDマスターティーチャーの養成

● SDGs達成のために

● ESDがますます重要な

右のページのとおり、新学習指導要領に「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられたことなどから、全国的に、学校現場でのESD実践を支援することがこれまで以上に必要とされています。

また、国連では、「ESDはSDGsの17の目標全てを達成するための鍵である」ともいわれており、ESDの提唱国である日本でESDを充実していくことがますます重要になっています。

市内から、そして全国から大牟田に集い、さまざまな優れた実践を学び合って、「ESDマスターティーチャー」となった先生たちが、それぞれの学校や地域でESDを推進するリーダーとして活躍することで、SDGs達成の担い手の育成が進むことが期待されます。

● 大牟田で全国各地のESD指導者を育成

これに対し、本市には、長年にわたりESDに取り組んできた経験とノウハウの蓄積があります。そこで、



先生たちが実践を共有し、学び合うことで、ESDの質を高めています (写真は昨年度)

- ◆ おおむた・みらいESD推進事業
- ◆ 人と海と未来をつなぐ海洋教育推進事業
- ◆ 大牟田英語教育ステップアップ推進事業
- ◆ 「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業
- ◆ 子ども大牟田体力検定推進事業
- ◆ 人権・同和問題啓発事業

